

## 第 8 回大阪市特別職報酬等審議会議事要旨

- 1 日 時 平成 26 年 10 月 8 日（水）正午～午後 0 時 50 分
- 2 場 所 大阪市会第 2 委員会室
- 3 出席者  
（委員） 池田会長、渡部会長職務代理者、生駒委員、倉持委員、中村委員、西委員、山崎委員  
（市側） 《人事室》  
黒住人事室長、機谷次長、坂本次長、古畑給与課長、米倉給与課長代理、松原担当係長  
《財政局》  
佐藤財務課長、上原総務担当課長  
《市会事務局》  
小西総務担当課長、綱田総務担当課長代理、明見担当係長
- 4 議 題 答申（案）の検討について
- 5 議事要旨
  - （1）答申（案）について、会長及び事務局より説明  
[資料]
    - ・大阪市特別職報酬等審議会答申（案） 要点
    - ・《参考資料》旧五大都市における特別職の報酬等の状況（給与減額措置前）
  - （2）答申（案）について  
政務活動費に関する意見について修正・追記することとし、それ以外は原案どおりで了承を得た。  
【主な意見】
    - ・全体としてこの内容でいいと思うが、政務活動費については、領収書の公開に黒塗りの部分が多いという指摘があったので、文面は会長にお任せするが、税の用途としての透明性確保の視点を意見に盛り込んでほしい。
    - ・当初から言っているが、市民の年収は減り続け、生活保護に要する経費は増大してきている状況では、首長、議員は自ら身を切る大幅なカットが必要。また、政務活動費は他国にはない制度であり、内容もタクシー代など適正に使われているとは言い難く、

- 1割程度の減額では市民の理解は得られない。今後、政務活動費の廃止といったことまで踏み込まないと、大都市大阪の回復、発展はない。
- ・半年間、大きな課題について議論し、何とか理解の得られる着地点を見出すことができたのではないかと思う。
  - ・大阪がもっとすばらしい街となり、市民に喜んでいただき日本に貢献できる街となっただけだということの思いで報酬を議論してきたので、この結果を大阪が発展できるように活用してほしい。
  - ・これまでの議論をまとめた内容となっているので、この内容で了承したい。
  - ・民間企業と比較するのは正しくないかもしれないが、民間では1億円以上受け取る役員が増えている。経営者としての仕事をしっかりやっていただきたいということと、責任ある立場にはそれなりのものが必要ということである。
  - ・旧五大都市の下位の水準としたが、一定の相場感があり、これからどんどん少子化が進み、人材の取り合いということになった時に、それなりの年俸を考えていかなければならない。さらに財政の状況・経済の状況を含めて考えなければならず、非常に難しくかつ重要な問題ではないかと思う。いろんな変化を含めてその都度議論を深めていければありがたい。
  - ・政務活動費に関する意見具申について、「期待する」という表現では弱いのではないか。
  - ・愛知県など政務活動費の公表データをCDにコピーして配布しているところもあるので、そういったことも追記してほしい。
  - ・今回は減額という結論だが、今後の経済状況等を踏まえて、大阪の発展という観点で定期的に議論すべきである。

### (3) 今後の対応

- ・本日の要点版をベースに、修正点も含めて会長預かりとして答申文書をまとめ、10月下旬に委員を代表して池田会長が市長へ答申することとした。